

和歌山市と「木」の勉強会を開催

和歌山木材協同組合では木材の重要拡大のため和歌山市の関係各課と「木（木材）」についての勉強会を平成28年9月5日に和歌山県民文化会館大会議室で開催しました。

勉強会は、和歌山市の関係各課から16名の参加を得、和歌山県からは森林・林業局長ほか林業振興課から3名、和歌山産業技術専門学院から2名、設計事務所から2名、県海草振興局林務課、和歌山工業高等学校、和歌山建設労働組合、和歌山商工会議所から各1名の参加をいただき、そして木材協同組合の傘下事業体から18名で46名が参加して行われました。

勉強会は18時から行われ、宮本理事長の挨拶の後、第1回目のテーマとして木の復習と題して木の構造、木の持つ特質をおさらいした後、木の短所長所について参加者から述べてもらいました。また、参加者からの疑問、質問に対して、参加者が答えるという方法で会が進められました。

最後に、和歌山県の新谷垣内森林・林業局長、和歌山市の寺田農林水産部長、松村産業政策課長、和歌山産業技術学院の東副学院長、和歌山工業高等学校の藤田教諭より意見、感想等を述べていただき、白樫副理事長よりお礼の言葉を申し上げて2時間の勉強会を終了しました。

今回は、和歌山市の関係各課からの参加者に木というものを理解していただくとともに、改めて木材関係者が「木について説明できる」素養を身につける機会とするのが狙いでした。将来住宅着工戸数が減少するであろうことから、非住宅分野での木材需要を広げていかなければなりません。特に公共事業による木造化・木質化等木材利用を推進してもらうためにも、まず「木」を使うという発想をしてもらいたいということで、そのためには、「木」について理解、知っている必要があるのではということで、今回の勉強会を企画する契機となりました。

